

平成 29 年度温泉地学研究所研究成果発表会プログラム

日時：平成 29 年 6 月 23 日（金） 13:00～16:00（12:00 受付開始）

会場：小田原市民会館 本館 3 階小ホール

■開会挨拶

13:00-13:05 所長 里村幹夫

■口頭発表（括弧内は発表者）

(1) 13:05-13:25 2016 年の地震活動について（本間直樹）

当所で行っている地震・地殻変動等の観測結果をもとに、2016 年 1 月～12 月までの神奈川県及びその周辺地域の地震活動について報告します。

(2) 13:25-13:45 空気の振動から噴火の推移を読み解く（行竹洋平）

空気の振動（空振）のデータを用いて 2015 年箱根噴火時における噴火活動の推移を推定します。

(3) 13:45-14:05 大涌谷から放出される火山ガスについて（代田 寧）

当所では、2016 年 7 月から環境科学センターと共同で大涌谷の蒸気井等から放出される火山ガスの採取・分析を行っています。ここでは、その結果について発表するとともに、火山ガス中の化学組成の変化から箱根山の活動状況の推移について推察します。

(4) 14:05-14:25 箱根湯本、塔之沢に湧出する温泉の現状と経年変化（菊川城司）

箱根湯本温泉、塔之沢温泉の源泉については、1970 年、1980 年、1990 年、2006 年に一斉調査を行い、泉質などを把握してきました。2015 年にも再度一斉調査を実施しましたので、その結果を報告するとともに、過去からの経年変化について解説します。

休憩・ポスター発表（14:25-14:45）

(5) 14:45-15:05 伊豆半島の付け根で何が起こっている！？

～最近の研究で分かってきた地震像～（本多 亮）

当所では、地震・地殻変動といった視点から伊豆衝突帯のテクトニクスモデルについて研究を行っています。ここでは、これまでわかったこと整理し、テクトニクスモデル解明に向けた成果と課題についてご紹介します。

(6) 15:05-15:55 特別講演：自然災害と恵み（里村幹夫）

地震、火山、台風や集中豪雨などの自然災害と、自然からの恵みは裏腹の関係にあります。この両者の関係についてお話しします。

■閉会挨拶

15:55-16:00 研究課長 板寺一洋

■ポスター発表

会場内に当所の調査研究や箱根ジオパークなどのポスターを掲示します。休憩時間に研究員がポスターの説明をします。